

2021.7.5

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

暗い梅雨空の下 鮮やかな華



赤塚公園の武蔵野台地崖線に沿った林の中には、6月の終わりごろから各所でヤマユリが咲いています。野草の中ではとりわけ大型で「林の中の女王様」の風情です。例年の開花期は7月のはじめですが、今年は2週間ほど早

い開花でした。とても貴重な植物で大切に保護しています。将来は「ヤマユリの里」になるかもしれません。ですが、あまりにもきれいなので、園路近くの花は残念なことに毎年のように切り取られてしまっています。大事に見守ってください。

「みんなの財産」野草は、誰か一人の財産ではありません

よく盗まれると言えば、右のタラノキもそうです。3月のはじめごろの若芽は山菜料理の代表的なもの。「取らないで」の札を付けていてもむしり取っていく人がいます、若芽を摘み取られた後は花を付けなくなると言われていますが、7/5のモニタリングではほかの場所で開花（蕾）を観察しました。「みんなの財産」は「誰かさん一人の財産」ではないのです。



各所で「ウバユリの林」「ヤブミョウガの林」が出現！

花の色が白なので、派手さはないのですが、夏から秋の林を代表する種です。



←ヤブミョウガ やや増えすぎの感あり。モニタリングの際に必要なに応じて適度な抜き取り作業を行う予定です。

下の写真左側は**ウバユリ**。大門のニリンソウ自生地の夏を特徴づけている野草です。ウバユリの向こうに小さな葉を茂らせているのは写真右の**ハグロソウ**。葉の緑色が黒



みを帯びているのでこの名がつけられました。

とっても希少な植物で、それがこれだけ群生しているのは大門地区だけです。



↑カマキリ

梅雨が明けないうちにもうすっかり夏模様になった崖線の林。草の陰では小動物も健気に命を燃やしています。

カタツムリ→



7月のモニタリングは 7/12、7/19 いずれも月曜日 9:00 ため池公園梅林下スタート このご時世、コロナワクチン接種が優先です。決して無理しないでください。

植物観察・記録活動（モニタリング）はどなたも参加できます。お問い合わせは下記へ。

都立赤塚公園サービスセンター 電話：03-3938-5715